

調書1 補助金等調査表（チェックシート）

所属 みどり公園課

（1）補助金の内容

名 称	みどりのネットワーク事業補助金		
交 付 開 始 年 度	平成26年度	終了予定年度	
交 付 先	みどりのネットワーク事業補助金		
交 付 の 目 的 ・ 必 要 性	「水と緑に囲まれた快適環境都市」の実現に向け、市民一人ひとりのみどりに対する意識を高揚させる。地域コミュニティの活性化を図るとともに市内の緑化推進を行う。緑化団体間における相互の連携や情報交換・技術継承。ホームページの運営、樹木と花の育成・生産、お米作り・ビオトープの育成・観察会などの環境体験学習を通じ、人材を育成し、次世代に引き継ぐ。「みどりのカーテン」の普及により、節電対策や緑化の推進を図る。		
対 象 事 業 の 内 容	種からの花苗づくり・みどりのカーテン・ビオトープの普及 お米づくりや自然観察会などの環境・体験学習		
形 態	☒ 事業補助 ☐ 運営補助 ☐ 混合補助 ⇒ 割合が大きいのは ☐ 事業補助 ☐ 運営補助		
直 近 の 見 直 し 状 況	見直した時期		
	内 容		
交 付 申 請	受領書類	☒ 事業計画書 ☒ 収支予算書 ☐ その他（ ）	
	確認内容	・事業の目的、概要、スケジュール ・事業に必要な消耗品等の数量・金額	
実 績 報 告	受領書類	☒ 事業報告書 ☒ 収支決算書 ☐ その他（ ）	
	確認内容	・事業計画書・収支予算書に基づき事業が執行されたか	

補助金等調査表（チェックシート）

（２）補助金見直しの基本視点に基づく評価

（※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること）

公益性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		広く社会に利益をもたらす	種からの花苗づくり・みどりのカーテン・ビオトープの普及により市民一人ひとりの緑化意識の向上を図る。 みどりのネットワークのホームページの運営お米づくりや自然観察会などの環境・体験学習を通じ、次世代の育成を図る。
公益性	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		ほとんど合っている	・みどりのカーテン普及により地球温暖化対策や持続可能な社会の実現につながる。 ・自然観察会や体験学習会をおこない、市民による環境保護活動と将来の担い手の育成ができる。
必要性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。
		ある	・みどりのネットワーク団体は営利を目的としていないボランティア団体であり、活動を継続するための財源確保が難しいため。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がないれば事業を実施できない理由・具体的な根拠を記入
		できない	・花苗や種、培養土など消耗品の出費が必ずあり、緑化の推進や普及を目的としているため、育成した花苗の販売のみで事業を運営することは難しい。
	市民ニーズが高いものである。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		やや低い	・市内の緑化推進や地域コミュニティの形成が図れるが、緑化に関心がない市民や地域コミュニティを必要としていない市民にとっては、必ずしもニーズが高いものとは限らない。
	市民ニーズに即している。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		やや即していない	・市内の緑化推進や地域コミュニティの形成が図れるが、緑化に関心がない市民や地域コミュニティを必要としていない市民にとっては、ニーズに即していないものとなる。
	補助金の意義について、的確に説明できる。	評価	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。
		できる	・市が補助金をネットワーク団体に交付することで種からの花苗づくり・みどりのカーテン・ビオトープの普及・みどりのネットワークのホームページの運営お米づくりや自然観察会などの環境・体験学習といった活動が可能になり、緑化の推進のみならず、多面的な分野（人材育成、コミュニティ形成等）への波及も期待できる。
必要性	補助期限（終期）を設定している。	評価	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
		未設定	本事業については期限を設けていないため補助期限も設定していないが、今後は団体の自立に向けて調整を行い、その過程で補助の終了も検討していく。
必要性	補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。
		はい	・収支決算書と領収書、レシート等

補助金等調査表（チェックシート）

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合していないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	「緑の基本計画」において、官民連携やボランティア支援をうたっており、本件はこれに整合している。
	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		いいえ	
公平性	事業を実施できる団体が他にない。（複数存在する場合、当該補助金がその事業者だけに交付される合理的な理由がある。）	評価	「はい」を選んだ理由
		はい	・当該団体は市内公園、緑地緑道で活動するボランティア等の連携・集合体として形成された団体であり、他に類似する団体が無い。
			「いいえ」の場合、補助金がその事業者だけに交付される合理的理由を記入。
	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めるべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
		設定済	・要綱にて上限額を564,000円としている。
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標	
		・「みどりのネットワーク」に参加する個人・団体の数 ・活動が展開される地域・場所	
		評価	評価理由
		ある程度の効果をあげている	・加入団体数・活動地域の増加が見られ、ある程度の効果を上げていると考えられる。
	手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		はい	・緑化推進のみを目的としているのであれば管理業務としての委託でも可能だが、特色ある花壇作りや地域コミュニティの形成、人材育成等多面的な効果が期待できるのは、団体の主体性を活かせる補助金の交付だと考える。
	国や県、本市において同様の補助事業がない。（※国県要綱に対し、上乘せ・横出しする補助事業は除く）	評価	「ある」の場合、同様な補助事業と両方存続させる理由を記入。
		ない	
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていない理由を記入。
		はい	・収支決算書、領収書、レシート等
	補助対象外経費を補助対象としていない。（対象としている場合は、明確な根拠を持っている。）	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。（※費目とは、飲食費や慶弔費など）
		対象としていない	

補助金等調査表（チェックシート）

※以下の項目は、団体補助金のみ記述。

団体補助金	団体の設置および活動目的が、補助事業からみて整合しているか。また、団体としての活動実態があるか。	評価	評価の理由
		はい	・緑化推進、地域コミュニティの形成、人材育成といった活動目的がみどりのネットワーク形成と整合している。 ・公共施設へのみどりのカーテン苗の配布のほか、お米づくりや自然観察会などの環境・体験学習を定期的実施している。
	補助事業の内容と成果について、交付団体においても対外的に情報公開を実施しているか。	評価	「はい」→情報公開の手法等について具体的に記入。 「いいえ」→実施できない理由と今後の見通しを記入。
		はい	・ホームページの運営やパンフレットの配布、地域紙への掲載を通し、情報を公開している。
	団体内で、補助金の使途や決算などの監査機能が有効に機能していて、透明性等をもって運営されているか。	評価	「はい」→どのような監査手法で実施しているか記入。 「いいえ」→機能していない理由と今後の見通しを記入。
		はい	・団体内に会計、監査といった役割が設けられており、例年の決算報告等も適切に行われている。
団体補助金	補助金交付団体の自立性を促すことなどから、運営補助から事業補助へ移行を図っているか。	評価	「運営補助」の場合、事業補助に移行できない理由と今後の見通しを記入。 ※混合補助で実施している場合は、割合が大きい方を選択してください。
		事業補助	
	市職員が補助金交付団体の事務を行っているか。（行っている場合は合理的な理由があるか。）	評価	「行っている」の場合、合理的な理由を記入。
繰越金	交付団体の補助事業会計において、補助金額以上の繰越金を計上している。 （※複数団体ある場合は、各団体を一覧化したものを別紙にて提出のこと）	評価	具体的な根拠指標
		いいえ	直近決算額における補助金額 _____ 円 繰越金額 _____ 円 { うち補助事業会計分 _____ 円 うち団体独自会計分 _____ 円
		繰越金額が生じた具体的な原因について記入。	
	上記設問において、「はい」の場合、補助金の減額ないし、休止などの必要な対策を考えている。	評価	「はい」→具体的な対応策について記入。 「いいえ」→対応できない理由について記入。

補助金等調査表（チェックシート）

（３） 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

同様の補助金がないため比較が難しい

（４） 補助金の課題

担当課としては、補助対象や基準額の見直しについて団体へ調整しているが、団体からは「様々な創意・工夫で収入の確保に取り組んでいるが、会員の増加、花苗を育成する種の費用が上昇しているため、これ以上の削減は困難であり、むしろ令和2年度以前の交付額に戻してほしい。」との意見があり難航している。花苗や種子などの価格の高騰による支出の増加と、市民まつりにおける花苗の販売再開などによる収入の増加の双方を踏まえ、今後は苗の価格の適正化やオープン講座等各種活動の参加料の設定など、団体の自主財源の増加につながる施策の提案を行い、補助対象や基準額について引き続き団体と調整を進めていく。

（５） 所属長の総合評価

浦安市みどりのネットワーク事業補助金については、市内の緑化推進を行うにあたり、緑化団体間における相互の連携や情報交換・技術継承として必要と考えている。今後は、基本方針の「みどりがまちをつくる」「みどりがまちをまもる」「みどりがまちを魅せる」「みどりが人を育む」を市民と共に実現していきたい。

（６） 補助金の今後の方向性

☐ 現行のまま継続
☒ 見直しをしたうえで継続
☐ 廃止
☐ その他

その他の内容

現行継続の理由	
---------	--

見直しの時期	令和8年度
見直しの内容	補助対象・基準額

廃止の時期	
廃止の理由	